

第5回 今治市総合計画審議会 会議録

1 日 時 令和7年8月27日(水) 14時00分～15時30分

2 会 場 今治市役所第2別館 11階 特別会議室1・2号

3 内 容

1 開 会

2 議 事

(1) パブリックコメントについて

(2) 今治市総合計画基本計画(案)について

(3) 今後の開催予定について

3 閉 会

4 出席者 <委 員> (順不同、敬称は省略)

倉澤 生雄 菊川 堅吾 黒田 周子

野間 有造 越智 瑞啓 松村 暢彦

津村 侑子 村上 浩一 渡部 浩忠

原 竜也 西原孝太郎 阿部秀二郎

重松 恵子 藤倉 晶子

※欠席者5名

<事務局>

総合政策部

部長 富田 義勝

企画政策局長 波頭 健

市民が真ん中課

課長 中田 匡亮 課長補佐 尾崎 大輔

政策調整推進官 森 聖二 係長 重松 辰弥

主査 安部 昂大

(委託業者) 有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所

玉井 智文、黒山 祐嗣

第5回今治市総合計画審議会 会議録

事 務 局	(議事1の内容について説明)
委 員	脱炭素先行地域に今治市が選定されたことを踏まえ、伯方島にソーラーパネルの絵を配置するのはどうか。
事 務 局	本日提示している見開きページのイラストは、主要な施設を大まかに配置したものである。イラストの細部をみると、現実の施設等と異なるイラストもある。次回審議会までに、デザインの詳細を詰めていき、よりわくわくするデザインを作成したい。
会 長	イラストの中心に配置しているIMABARIのモニュメントのイラストは今後削除する予定であるか。
事 務 局	今後、総合的に判断してどのイラストをどのように描くのか等を考えていきたい。
会 長	市民が主役のまちづくりを掲げているため、ぜひ人が活躍しているイラストにしていただきたい。例えば農林水産業の盛り上がりを表す際に、漁業や林業で働いている人の様子をイラストで描いてほしい。現在のデザインは、すっきりとしていて見やすすぎるため、より様々なまちの要素が混合しているデザインにするのが良い。
委 員	自転車に乗っている人が一人しか描かれていないため、より多くの自転車に乗っている人のイラストを描いてほしい。
委 員	デザイン全体で、寂しい印象を受ける。
会 長	寂しい印象を受ける理由としては、人のイラストが少ないからだと考える。今後、デザインの詳細を詰めていく中で、人のイラストを増やし、市民が主役のまちづくりを表現してほしい。
委 員	山のイラストは、より丸みのあるイラストの方が可愛いらしくて良い。
委 員	基本構想の見開きページデザインの活用方法を工夫することが重要である。例えば、見開きページを基とした間違い探しを作成する等、こどもが手に取りやすい工夫を行うのが良い。

事務局	間違い探しを作成することは難しいが、見開きのイラストを見た時に、子どもも将来の今治市にわくわくするようにしたい。
会長	裏表紙等に、クイズ形式で様々なイラストを探す工夫をするのも一案である。
委員	以前、市のポスターで、広島から見た今治市の様子を表すデザインを見たことがある。複数の画角や視点のデザインを追加することで、外からみた今治市を表現するのはどうか。
事務局	言及していただいたイラストは、観光課が作成したもので、飛行機が今治市に降りてくる際に見える今治市の景色を描いたイラストである。外からみた今治市を表現することはおもしろい発想であり、今後のデザイン作成の参考にしたい。
委員	総合計画の冊子を何部印刷し、何処に配る想定であるか。
事務局	冊子は最低限の枚数を印刷し、別途概要版を多く作成し配る想定である。
委員	基本構想を見る主なツールが今治市のHPになるのであれば、地域のイラストをクリックしたら各地域のリンクにアクセスできるようにしてはどうだろうか。イラストを細かく書き込みすぎると煩雑になるため、詳細なイラストや説明は、各地域のHPに掲載するのが良いのではないか。
委員	多くの建物のイラストが描かれているが、どの建物を描いているのかわからない市民が多いのではないか。各建物のイラストがどの建物を描いているのかが分かる表現をしてほしい。
会長	ご意見があったように、各建物や施策のイラストにリンクを作成し、イラストのリンクから各建物や施策の説明をみることができるようにするのも一案である。
委員	前回審議会で提示いただいたデザインより良くなっている。一方で、市のHPに掲載されている農産物、魚介類等の今の産業が、10年後にはより活気が溢れている様子を表現してほしい。例えば、大島では、日本遺産の村上海賊をアピールしているので、島の周りに潮流を描く等の工夫をし、10年後により盛り上がっている様子を描いてほしい。来島海峡大橋は世界初の三連吊橋であり誇りに思っているため、イラストでも丁寧に表現してほしい。

委 員	イラストに違和感がある理由は、殆どの人のイラストが正面を向いており、人の動きがないからだと考える。整然としており寂しく感じる。
事 務 局	事務局としても、イラストの人の動きが少ないことへの課題を持っている。多くの施設を描くのではなく、市民がどのような活用をし、どのように楽しんでいるのかを表現したい。細部に気を配りながら、人の表情や動きをより表現したい。
会 長	現在作成段階であるが、ぜひ、市民がわくわくするようなイラストを作成してほしい。
委 員	10年後の今治市を描くため、10年後にまちづくりの主役となっている現在の小学生と中学生にイラストについてアンケートを取るのはどうだろうか。
会 長	今回の総合計画が、こどもが将来の今治市について考えるきっかけになってほしい。
事 務 局	前回、イラストのテイストを決める時に、A案、B案、C案の3つのイラストについて高校生に意見を聞いた。今回も、完成した時に、児童・生徒にデザインについての意見を聞きたい。
委 員	イラストが綺麗にまとまっており良いと考えるが、誰に何を届けるためのイラストなのかでコンセプトが変わる。外向けに観光産業をアピールすることが目的なのか、市民向けに作成することが目的なのか。外向けに観光産業をアピールすることが目的であれば、サイクリング等のイラストを多く追加するのが良い。現在のイラストを見ると、緑が多く描かれており、田舎になっているように見える。緑が多いが住み易い田舎のイメージを押し出すのか、より都市開発がされていく様子を描くのか等の、10年後の今治市が目指す姿のコンセプトを決める必要がある。予算との兼ね合いもあると思うが、紙媒体とデジタルそれぞれで、市民がイラストに関心を抱く工夫をする必要がある。イラスト作成するにあたり、コンセプトを決め、誰に何を伝えたいのかを明確にすることが重要である。
事 務 局	総合計画は市の最上位計画であり、全方向の計画であり特定の分野をアピールすることは困難である。全方向の計画でありながらも、市として、どのようなコンセプトでイラストを作成していくかを考えていく。

会	長	見開きイラストが入口のページになるため、市民を惹きつけ、続きを読みたくなるようにしてほしい。	
委	員	「夢が行き交う」や「みんなのふるさと」の将来都市像のフレーズが、現状のイラストでは伝わりづらい。住民同士の繋がりが見えてこないことや人の動きがないことが原因だと考える。綺麗な川等のふるさとの原風景が見えてこない。人が行き交っている様子を描く等の工夫をしてほしい。	
事	務	局	現状のイラストを見ると、10年後ではなく、今の今治市になっていると感じる。10年後の今治市を表現するために、未来志向でイラストを作りたい。また、人の表情や動きが見えるイラストにしていく。
会	長	今後、資料1はパブリックコメントにかける。委員からも市民の一人としてパブリックコメントに意見していただきたい。11月の審議会で、パブリックコメントの意見を踏まえて、修正した資料について意見をいただきたい。	
事	務	局	(議事2の内容について説明)
委	員	施策1-2-2「こどもの学びを充実させる学校教育への支援」の主要な取り組み①の「学校の通信環境改善」について、通信環境の改善に加えて、人的配置の要素も加えてほしい。ICTが高度化していく中で、ICTの使用方法を教えることができる人材を配置してほしい。主要な取り組み②の「教員の働き方改革と業務改善の推進」については、各校に支援スタッフを配置すると記載されているが、各校への支援スタッフの配置を充実させるとし、「充実」という言葉を加えてほしい。主要な取り組み③の「外国出身のこどものための学習・生活支援体制の整備」について、外国語指導助手の配置ではなく、外国語指導助手の配置充実とし、「充実」という言葉を加えてほしい。	
			施策4-1-4「住環境の整備・空き家対策」の目指すべき姿で使用されている「住宅のレジリエンス」の言葉の意味が分からない。市民にとってわかりやすい表現にしてほしい。
事	務	局	市民が分からない言葉は避けるのが良いと考える。教育に関する記載は、教育委員会と記載内容を検討する。専門用語は分かり易い表現に置き換える形で全体を見直す。
委	員	ゼロカーボンについて、都市部のマンションにはディスプレイが設置されており、生ごみを水と一緒に排水溝に流すことができる。環境負荷の小さ	

	<p>いゴミは下水に流しバイオ発電に使用する。今後、人口減少が進むと、下水処理の稼働負担が減ると考えている。四国で、今治市が初のディスプレイを設置することでカーボンニュートラルに貢献できつつ、主婦の負担も減らすことができる。教育の人員配置についても同様に、インセンティブを与えることで、ICTの使用方法を自ら覚えるのではないか。主要な取り組みという看板があっても、市民にどのようなインセンティブがあるのかが具体的に分からないと、市民も関心を抱かずに、主要な取り組みという看板を見るだけで、実際に取り組みに貢献してもらえない。</p>
事務局	<p>基本計画に紐づく実施計画や個別の事業計画を作成し、具体的な事業や市民へのインセンティブ等について記載するとともに、未来志向の内容としていきたい。</p>
会長	<p>環境、資源、交通等の施策は、どの地域に住むか等の経済活動とリンクし、部局横断的に関わる内容である。基本計画の各施策が、各担当部局に割り振られているが、部局横断で各施策と関わっていく形となるのが良い。1-1-1の施策はこの課に任せるといった形にはなってほしくない。実施計画では、担当課同士の連携が視覚化されていてほしい。</p>
委員	<p>施策1-5-1「男女共同参画・人権啓発～誰もが生き生きとできる社会へ～」について、LGBTQの内容を記載するとして、LGBTQという言葉が直接記載するか否かは検討する必要がある。今治市としての、LGBTQへのスタンスを明確にしてほしい。</p> <p>施策2-4-1「ゼロカーボンシティの実現」について、総合計画の基本構想ではカーボンニュートラルと記載されているが、基本計画ではゼロカーボンと記載されている。用語のばらつきが気になる。</p> <p>自然環境・景観の保全の施策については、瀬戸内の景観は今治市の強みであるため、追加しても良いのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた点は、改めて見直し検討する。</p>
委員	<p>市長の政策で瀬戸内クロスポイント構想の実現がある。瀬戸内であれば、香川や広島、岡山との連携も10年後を見据えると必要であり、施策2-5-4「多様なアプローチによる地域課題解決」の主要な取り組み②「関係自治体との連携推進」で、10年後にわくわくする施策とするために香川や広島、岡山との連携について記載するのが良いのではないか。</p> <p>施策3-1-1「世界とつながる海事都市今治の発展」、3-1-2「今治と世界をつむぐタオル産業の発展」について、国内でも類をみないモデル事業で</p>

		<p>あるので、国に働きかけて強力なバックアップ体制を構築していくべきだと考えており、その点についても明記するべきではないか。</p>
会	長	<p>海事産業等について、ぜひ国との連携について記載してほしい。</p>
事	務	<p>局 ご指摘の点は、基本計画か実施計画に記載していくか等検討をしていく。</p>
委	員	<p>施策1-1-1「今治の未来を育む、子育て世帯への切れ目ない支援」、施策1-1-2「地域の輪を大切にしながら安心して子育てできる環境づくり」について、30年前に国際連合で子どもの権利条約が制定された。今治市もネウボラ政策課を立ち上げる等、子育て支援に力を入れてもらっている。子どもの権利条約は、こどもの意見を反映しなさいという条約である。全ての子育て教育に関する文章は、困っている人を助けてあげなさいということを書いている。こどもが意見を言える環境・場所を作っていくことが、10年後の今治市を作るうえで重要である。市民が真ん中となるまちづくりのために、市民が意見を言えるという内容を計画に加えることが重要である。市役所の作成する冊子やHPでも、誰もが意見を言うことができる環境を作っていくことを記載することで、10年後20年後、市外に出たこどもが今治市に帰ってきたいと思うのではないか。</p>
事	務	<p>局 まちづくりは人づくりであり、特に人口減少下においては、個々の様々な意見を尊重することが重要である。行政主導の取り組みについても、市民の皆さんの意見を集約して進めていくことを、基本計画に記載したい。</p>
会	長	<p>市民もまちづくりに責任を持つことが重要である。行政を責めるのではなく、市民も自分事として、責任感を持ってまちづくりに参画する姿勢が大事である。行政だけではなく、市民含めた全員がまちづくりに関わっていくために、「みんなができること」を記載するのは勇気のある重要な決断である。</p>
委	員	<p>ICTの専門員を教育現場に配置してほしい理由は、30年前に文部科学省のプログラムでドイツとアメリカの学校を視察した時に、アメリカでは小学校の低学年に、専門家がインターネットの使い方を教えている現場を見たことがあることに起因する。当時のこども達は、今40代になり、今のアメリカのインターネットの発達を見ると教育の力は非常に大きいと感じる。今治市としても、そのような人員配置をすることで、今治市の将来を担うこどもが育成される。施策2-5-3「健全な行政運営」について、市職員のやる気が高まる記載にならないだろうか。市役所のやる気は市民のやる気に繋がる。できない理由を探すのではなく、どのようにすれば出来るのかを考えて</p>

事務局	ほしい。
会長	健全な行政運営について、職員数が減少する中で、DX化を進めて効率的な行政運営を進めたい。
事務局	職員の質を向上させる取り組みや仕組みはあるか。
事務局	職員研修等を実施している。できないことではなく、どのようにできるかを考える職員は多い。部長等が中心となって、他の職員にどのようにできるかをまず考えようという意識を伝えていこうとしている。総合計画の中に、職員のモチベーション向上等を記載することはできないが、ご指摘いただいた意見については、職員一人ひとりが持っていなければならないと考えている。
委員	市の職員は非常に頑張っている。これ以上を市の職員に求めると市の職員が疲弊してしまう。市民サービスは、どこかで割り切ることも必要である。市民が行政に対して頼りすぎている。市職員の負担を減らし、より良いまちづくりを進めていくためにも、市民へのインセンティブを設計する等の市民が自ら主体的に行動できる仕組みを作ることが必要である。
会長	経済産業省が策定した未来人材ビジョンで、今の時代にどのような人材が必要ですかというアンケートの結果が記載されていた。2015年の結果では、「勤勉さ」や「誠実さ」が上位であったが、2050年には「問題解決力」等が上位になることが予想されており、組織の人間の考え方を変えていく取り組みが必要である。行政機関においても、考え方をアップデートしていく取り組みが必要である。
委員	今治市の将来像を考えると、外国人人材の活用やインバウンドの拡充が必要である。イラストをみると、市外から人が流入するイラストがないため、追加してほしい。
委員	基本計画の文章全てが、市がやってあげるという文章である。このままでは市職員が疲労してしまう。困ったら市役所にとりあえず聞こうというスタンスではなく、自らどのように市の問題を解決できるかを考える市民の声を拾い、そのように主体性のある市民を増やすことが重要である。
会長	交通安全教育は警察の管轄となっており、自転車の乗り方を小学生で教わるとなっているが、殆どは保育園の段階で、自己流で自転車に乗れるように

	<p>なっている。信号の意味や交通ルールの意味等の交通安全は家庭で教えるものである。交通安全ルールの理解のように、家庭で教えるべきことを、行政が請け負うと非常に非効率である。10年後に、市民が主体的に動けるまちになるために、そのようなことを、基本計画の市民や企業・団体をお願いしたいことの欄に記載してほしい。</p>
委員	<p>貴方は今治市の為に市民として何ができますかという投げかけを市民にすることが重要である。</p>
委員	<p>今までの慣習や取り組みをやめることは相当な労力が必要である。やめる必要のある慣習や取り組みは勇気を持ってやめることができる内部の体制を構築することが必要である。施策1-1-3「安心して子どもを預けられる就学前教育・保育施設の充実」について、全国的に子育て支援の取り組みは様々あるが、結婚を支援する取り組みが少なく結婚をする人の数が増えていないと考える。若い世代がより結婚したいと思える施策が必要である。</p>
事務局	<p>結婚前の段階での支援では、若い世代が今治市に帰ってきたいと思える施策がまず必要だと考えている。今治市出身で県外の大学に進学した学生が今治市に帰ってきたいと考える取り組みが必要である。仕事と住む環境を整えることが、今治市に定住して子育てをしたいと考える要素になる。産業の施策に記載されている職場環境を整えることが、同時に子育て施策にも繋がっているように、各施策が連携していることを伝えていきたい。</p>
事務局	<p>(議事3の内容について説明)</p>
会長	<p>追加での意見がないため、これをもって本日の審議会を終了する。</p>